

2026 年 1 月 5 日
出光興産株式会社

当社社長 酒井則明 年頭の挨拶

当社グループ従業員に向けた、代表取締役社長 酒井則明の年頭の挨拶をお知らせします。

新年おめでとうございます。

皆さまには健やかに新年を迎えられたこととお慶び申し上げます。また、年末年始も休むことなく、エネルギーと素材の安定供給に尽力し続けてくれた製油所・事業所をはじめ、国内、海外の各拠点の社員の皆さん、グループ会社、特約販売店、協力会社の皆さまに深くお礼を申し上げます。

さて、昨年を振り返りますと、国内では大阪・関西万博の開催や高市新政権の誕生に多くの皆さまが関心を寄せていたものと思います。一方で、世界を取り巻く環境は不確実性が高い状況に変わりはありません。依然収束がみえないロシア・ウクライナ紛争や、中東情勢の緊迫化など地政学リスクの高まりによる緊張が続きました。また米国トランプ政権による関税政策の発表後には景気下振れ懸念が強まり世界経済の不透明さが増しています。気候変動をめぐっては、世界各地で暴風雨や洪水、干ばつの発生、日本国内でも豪雨災害が激甚化するなど、自然災害の影響を大きく受けた1年でした。

新年に入り、ベネズエラ情勢の不安定化により、地政学的緊張が一層高まっています。

地政学リスクの高まりは、エネルギー安全保障の重要性を改めて浮き彫りにし、短中期的なエネルギートランジションに大きな揺り戻しが起きています。こうした複合的な課題に直面する中で、デジタル技術の進展、特に生成 AI の急速な普及は、産業構造に変革をもたらす可能性を秘めています。世界の変化は加速し、かつてないほど先行きの見通しが難しい時代に突入しています。

このように不確実性が高く、国内、海外において事業を取り巻く環境が異なる中でも、今年度が最終年度となる中期経営計画（対象期間：2023～2025 年度、公表：2022 年 11 月 16 日）は順調に進捗しています。現中計では、2030 年ビジョン「責任ある変革者」に向け、既存事業のさらなる強化と将来に向けた戦略投資を通じて事業構造改革を推進してきました。また、当社の経営の根幹である人財戦略においては、新行動指針の策定や経営層と社員との対話機会を増やすなど、社員の成長とやりがいを最大化するための取り組みを進めてきました。いずれの戦略においても、基盤事業をしっかりと支える役割、新規事業をけん引する役割、共通部門で事業を支える役割、皆さんがそ

それぞれの職場で責任感を持って役割を全うしていただいた結果です。皆さん一人ひとりの取り組みに心より感謝申し上げます。

2026 年は、次期中期経営計画がスタートします。次期中計においても、当社が目指す方向性は明確です。「事業戦略」と「人財戦略」を国内外での成長の原動力とし、企業価値の向上を目指します。この基本的な方針に変更はありません。引き続き、エネルギーと素材の安定供給を通じて暮らしを支えるライフラインを守るという社会的使命を果たしていきます。また、当社の持続的成長を実現するためには成長戦略を描いていくことも重要です。具体的な戦略については、次期中計の公表と併せてお話しします。

2050 年のカーボンニュートラル実現は変わらない世界共通のミッションです。国や地域ごとの特性を踏まえ、足元のトレンドを注視しつつ世界全体での中長期的な脱炭素の潮流を見据え、エネルギートランジションを着実に進めていきます。「エネルギーと素材の安定供給」、「成長戦略の実行」、「脱炭素への挑戦」について「バランス」を取りながら、取り組んでいきます。当社の経営戦略の根幹となる人財戦略においても、事業戦略と連動するさまざまな施策を講じていきます。

最後になりますが、出光グループにおける事業の究極の目的は「人を育てること」です。先を見通すことが難しい「変化」の時代だからこそ、我々にとっては大きく飛躍するチャンスです。「人が中心の経営」を実践し、一人ひとりが持っている能力を最大限に発揮し、皆さんがやりがいを持って生き生きと働く環境を整える。これを実現することが何よりも重要です。皆さんとの双方向のコミュニケーションを通じて、一緒に考え、取り組んでいきます。

本年も、出光グループの皆さんにとりまして素晴らしい一年となりますよう心より祈念し、私の新年の挨拶とさせていただきます。

～ 本件に関するお問い合わせ先 ～

出光興産株式会社 広報部広報課

https://www.idemitsu.com/jp/contact/newsrelease_flow/index.html